

# プログラム

9:25～9:30	<b>開会の挨拶</b> 当番世話人 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
9:30～12:30	<b>シンポジウムⅠ『PICCの管理法と成績と問題点と対応』</b> 座長：木許 健生（神戸海星病院） 栗山とよ子（福井県立病院） 福原 真美（天理よろづ相談所病院） <b>SY1-1 PICC長期留置症例に対する感染管理の現状</b> 庄司 浩気（社会医療法人中央会 尼崎中央病院） <b>SY1-2 PICC挿入部位による安全性の検討ー上腕か肘かー</b> 福山 俊彦（神戸労災病院） <b>SY1-3 呼吸器外科手術患者におけるPICCの使用経験</b> 川崎 竹哉（国立病院機構 茨城東病院 胸部疾患・療育医療センター） <b>SY1-4 末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）の現状</b> 目黒 英二（函館厚生院 ななえ新病院） <b>SY1-5 末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）667例に対する管理成績</b> 新居田敦子（医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院） <b>SY1-6 PICC管理の現状と今後の課題ーICT・NST・医療安全管理室3チームでの取り組みー</b> 白崎 智恵（福井県立病院） <b>SY1-7 末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）の管理上の問題点</b> 高橋三千代（西宮市立中央病院） <b>SY1-8 小児外科領域における末梢挿入式中心静脈カテーテル（peripherally inserted central catheter：PICC）の使用経験</b> 廣瀬 雄輝（大阪市立総合医療センター） <b>SY1-9 末梢挿入式中心静脈カテーテルを使用した妊娠女性56例の検討</b> 吉田 瑞穂（独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター） <b>SY1-10 本当は怖いPICC挿入手技</b> 庄司 浩気（社会医療法人中央会 尼崎中央病院）
12:30～13:30	<b>ランチョンセミナー『ニプロIPエコーの使用経験ーどこまで使えるか？ー』</b> 座長、講師：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 講師：林 泰生（市立敦賀病院 外科） 共催：ニプロ株式会社
13:30～13:40	<b>事務連絡</b> 当番世話人 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
13:40～14:55	<b>一般演題</b> 座長：西口 幸雄（大阪市立十三市民病院） 森安 博人（南和広域医療企業団 五條病院） <b>口演-1 ただの加齢変化か？放射線白内障かも知れない1例</b> 目黒 英二（函館厚生院 ななえ新病院） <b>口演-2 悪性リンパ腫の治療で大腿PICCを活用した1例</b> 飯塚 堯（独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター） <b>口演-3 認知症超高齢者に短期的PICC挿入することでADL低下を予防した2例</b> 杉本 由佳（すぎもと在宅医療クリニック） <b>口演-4 胃癌パスにおける末梢アミノ酸含有輸液使用中の末梢血管管理</b> 衣笠 章一（兵庫県立加古川医療センター） <b>口演-5 入浴／シャワー浴は中心静脈カテーテル関連血流感染のリスクになるか</b> 石川かおり（兵庫医科大学病院） <b>口演-6 CVポートを抗悪性腫瘍剤投与に使うほうが静脈栄養に使うよりも感染率が低いのはなぜ？ー抗悪性腫瘍剤中での微生物増殖能に関する検討ー</b> 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
14:55～15:40	<b>企業PRプレゼンテーション</b> 座長：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
15:40～17:30	<b>シンポジウムⅡ『CVポートの管理法と成績と問題点と対応』</b> 座長：北出 浩章（関西医科大学総合医療センター） 上島 成幸（西宮市立中央病院） 杉本 由佳（すぎもと在宅医療クリニック） <b>SY2-1 化学療法センターにおける安全なCVポート採血の運用</b> 藤巻奈緒美（静岡県立総合病院） <b>SY2-2 CVポート、PICCポートにおける留置後合併症の比較検討</b> 山内 洋一（青森県立中央病院） <b>SY2-3 上腕ポートの導入とみえてきた課題</b> 成田 潔（桑名市総合医療センター） <b>SY2-4 CVポートのあるべき姿とは？</b> 川瀬 義久（公立陶生病院） <b>SY2-5 CVポート感染72症例の検討</b> 西森 英史（札幌道都病院） <b>SY2-6 CVポートのカテーテル筋間断裂に関する検討</b> 板倉 弘明（市立東大阪医療センター）
17:30～18:00	<b>教育講演『輸液中の微生物汚染について』</b> 講師：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
18:00～18:05	<b>閉会の挨拶</b> 当番世話人 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）